

平成 29 (2017) 年度

自己点検・評価報告書



平成 30 (2018) 年 7 月

学校法人 YIC 学院

Y I C 公務員専門学校

まえがき

本校は、平成18年に、当時宇部市にあった「山口情報ビジネス専門学校（現YICビジネスアート専門学校）」の姉妹校として山口市に開校しました。平成20年に現在の「YIC公務員専門学校」へ改称し、平成23年に新校舎の「YIC Studio」に移転しました。

平成24年には、「公務員総合学科」（2年生）を新設し「公務員学科」（1年生）、「上級公務員学科」（1年生）の3学科をもつ公務員専科校として、毎年高い公務員試験合格率を維持しつつ、卒業生の多くを公務員として山口県内外に輩出しています。

また平成27年4月には公務員総合学科は、職業実践専門課程の認定を受けました。平成29年度の学校自己点検および自己評価につきましては、前年度と同様に「一般社団法人 全国専門学校教育研究会（全専研）」の様式を用いて実施し、自己点検・自己評価の結果を報告いたします。

先日開催した「学校関係者評価委員会」においては、外部委員の皆様より、カリキュラムの内容、授業改善、教員の資質向上への取り組み、就職活動も含む学生支援等について、改善すべき点や検討すべき課題等をご指摘いただきました。

委員の皆様からの貴重なご意見を真摯に受け止め、教職員一同、より質の高い教育の実現を目指して、諸課題の改善および教育課程（カリキュラム）の見直し等を実施していく所存です。

今後とも本校の取組みに対し、皆様方のご支援ならびにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月

学校法人YIC学院
YIC公務員専門学校
校長 中川 達也

平成29年度 自己点検・評価評価の実施結果、改善内容および課題

項目の重要度ランク
Aランク:設置基準レベル(専修学校として必須)
Bランク:全国専門学校経営研究会加盟校目標
Cランク:理想的な姿(努力目標)
評価基準
◎:出来ている
○:ほぼ出来ている
×:実施できていない

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標		重要度ランク	評価	実施状況
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が、明文化しているか。上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか。	1 【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等)	A	◎	学生便覧1頁、パンフレット1～2頁に掲載している
	2 【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等)	B	◎	教職員手帳(経営計画書)に掲載している
	3 【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP・パンフレット・募集要項等)	B	◎	パンフレット1～2頁、HPに掲載している
	4 各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか。	C	◎	学生便覧1～2頁に掲載している
評価の根拠 改善内容および課題	学校案内(パンフレット)、ホームページ、学生便覧に掲載している。			

2 教育の内容			重要度ランク	評価	実施状況
各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか	1	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	B	◎	学生便覧2頁、9~11頁に掲載している
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	B	◎	校務分掌に従い複数の担当教員で作成している
	3	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。	C	◎	校務分掌に従い複数の内部職員で構成している
	4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	C	○	教育課程編成委員の実施及び年に数回業界関係者(公務員等)と意見交換を行い、授業に取り入れている
	5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	B	◎	全科目についてシラバスを作成している
	6	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	B	○	シラバスの製本化はしていない
	7	上記において各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	B	◎	毎年度実施している
	8	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	C	○	現状ではコマシラバスは作成していない
各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか	9	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	B	◎	学期の中間・期末時に実施
	10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	B	◎	各教員へ結果を知らせており教員面談は不定期に実施している
	11	結果に基づく研修を実施しているか。	C	○	グループ内外の各種研修から適切なものを選び研修に参加させている
	12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	C	○	授業観察を不定期で実施している
	13	結果に基づく教員のレポート報告書・改善計画書等が作成されているか。	C	×	実施されていない
	14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	C	○	各自改善に努めているが、成果の確認・把握の体制が整っていない
	15	授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	C	○	各校の副校長による授業視察が行われている
各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか	16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	B	◎	年間3~4日/人の実習を実施している
	17	キャリア教育などを行っているか。	C	◎	職業理解、職種研究の授業を実施している
	18	ビジネス教育を行っているか。	C	◎	商業簿記、ビジネス実務、コンピュータ演習などの授業を実施している
	19	コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか。	C	◎	コミュニケーション実習、グループワークなどの授業を実施している
	20	リメディアル(導入前教育・補習)教育をやっているか。	C	◎	2~3月に入学前学習を実施している
	21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	C	◎	2大学において連携講座を実施している
	22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	C	○	官公庁から講師を招聘し、特別授業を実施している
各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取り組みがされているか	23	教職員の研修計画が作成されているか。	C	◎	年間の研修計画が作成されている
	24	専門性や指導力等の把握や評価・維持・向上のための内部研修・研究を実施しているか。	C	○	グループ校全体での研修を実施している
	25	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	B	◎	外部研修へ派遣している
	26	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	C	○	グループの規程に基づき、一定の研修等には時間的・経済的支援がある
	27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング・報告書・教務日誌等)	B	○	講義記録を取っているが、簡素な記述にとどまっている
評価の根拠 改善内容および課題	カリキュラム編成、シラバス作成、授業評価アンケートは計画的に実施されている。内容や活用状況については改善の余地がある。教員の外部研修等の機会が年に数回あり、学生のスキルアップに活用されている。授業観察のフィードバックの為に文書を様式化する必要がある。また非常勤講師の評価・フィードバック体制も整備しなければならない。				

3 教育の実施体制			重要度ランク	評価	実施状況
各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか	1	組織機能図があるか。	A	◎	組織図、校務分掌表を作成している
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	A	◎	作成している
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	C	◎	学内に設置している
	4	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか。	C	○	蔵書数は少なく、充実を図る必要がある
	5	就職支援を行う指定された場所があるか。	B	◎	キャリアサポート室を設置している
	6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	◎	学生便覧13頁に掲載している 敷地内全面禁煙を実施している
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	○	節電・節水・ごみ分別の掲示はあるが、規定として文書化されていない
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	B	○	教室内に清掃要領を掲示しているが、規定として文書化されていない
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか。	B	◎	年間スケジュールの下、定期的に実施されている
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	B	○	実習に際し文書による事前指導をしているが内容の充実を図る必要がある
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	A	◎	全員学生災害保険、インターナンシップ保険に加入している
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	A	◎	定期的に点検している
	13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	A	○	定期的に実施されているが、管理方法は検討の余地がある
評価の根拠 改善内容および課題	環境美化活動は計画的に実施・チェックされている。 分煙・禁煙、環境エコ活動、学内外実習時の安全対策に関する規定は不十分であり、次年度に向けて整備が必要である。				

4 教育目標の達成度と教育効果			重要度ランク	評価	実施状況
各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか	1	学生の就職に関する目標を設定したか。	A	◎	年度当初に目標として設定している
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	B	◎	教職員会議資料により共有されている
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	B	◎	記録している
	4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	C	○	教職員会議で報告しているが、卒業後の検証は不十分である
	5	対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)	B	◎	学校案内(パンフレット)2~9頁、HPにて公表している
	6	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	A	◎	年度当初に目標として設定している
	7	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	◎	教職員会議資料により共有されている
	8	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。	C	○	教職員会議で報告しているが、検証は不十分である
	9	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	B	○	資格・検定については、請求があった場合は開示しているが積極的公表は
	10	退学率の目標を設定しているか。	A	◎	年度当初に目標として設定している
	11	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	◎	教職員手帳(経営計画書)に掲載している
	12	退学結果に関して検証・報告がされたか。	C	◎	退学に至る経緯を文書化し、教職員会議で報告している
	13	退学者数を公表しているか。	C	◎	情報公開のホームページにて退学者数を公開している
	14	卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。	C	◎	記録している
	15	卒業生(同窓生)の進路・就職先等を公表しているか。	C	◎	学校案内(パンフレット)10~11頁にて公表している
	16	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。	C	○	卒業生全員の就業状況を完全には把握できていない
	17	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を公表しているか。	C	×	公表していない
評価の根拠 改善内容および課題	資格・検定については、総合学科1・2年次のビジネス系の授業の中で学習し、資格を受験している。卒業生(同窓生)全員を対象とした追跡調査は、同窓会案内等を通じて行われているが、十分な情報が得られていない。				

5 学生支援			重要度ランク	評価	実施状況
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	A	◎	学校案内(パンフレット)2頁の教育理念・教育目標の中で明示している
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	A	◎	学校案内(パンフレット)12~15頁にて明示している
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A	◎	募集要項3頁にて明示している
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A	◎	募集要項2頁にて明示している
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	A	◎	入試事務局を設置し対応できる体制ができている
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	A	◎	学校説明会・オープンキャンパスにて情報提供している
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか。	C	◎	1~3月に入学前学習を実施している
	8	入学者に対し学習・学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	B	◎	入学前および入学時オリエンテーションを実施している
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)	9	担任による面談が定期的に行われているか。	B	◎	段階に応じて定期的に実施している(概ね3か月ごと)
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	C	◎	キャリアサポートナー4名、ジョブカードキャリアコンサルタント1名が在籍している
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	C	◎	月1回の学生相談日を設け臨床心理士やカウンセラーが担当している
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	C	◎	総合支援部を窓口として学生便覧にも連絡先を掲載し周知されている
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	C	◎	上記のとおり、体制が整っている
	14	学生の面談・相談記録があるか。	B	○	所定の記録用紙に記載しているが、様式の見直しが必要である
	15	定期的に健康診断を行っているか。	A	◎	毎年4月に実施している
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	A	◎	日本学生支援機構奨学金のほか、グループの学費サポート制度がある
	17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	B	○	保護者面談は文書を発送した上で、希望があれば実施している。
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	C	◎	同窓会がある
	19	卒業生への職業紹介をしているか。	B	◎	卒業後10年間就職サポート制度を設けている
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	C	○	卒業生が参加できる講座がある
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	C	×	定期的訪問は行っていない
	22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP・学校便り等)	C	○	HP、同窓会を通じて卒業生に知らせている
上記以外を通じての学生支援	23	保護者の会(後援会等)はあるか。	C	×	存在していない
	24	企業の会(就職後援会等)はあるか。	C	×	存在していない
	25	学校情報を保護者に知らせているか。(HP・学校便り等)	C	◎	保護者宛につき毎月1回の学校便りを送付している
	26	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り・DVD等)	C	○	HPを通じて外部に知らせている 高校に定期的に情報提供している
	27	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り・DVD等)	C	○	HPを通じて外部に知らせている
評価の根拠 改善内容および課題	保護者会及び保護者面談が定期的に行われておらず(希望者のみ)、今後の課題である。 学校情報の提供について、企業・官公庁等に対しては不十分である。				

6 社会的活動			重要度 ランク	評価	実施状況
意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか。	C	○	社会的活動は行っているが目標・計画に基づくものではない
	2	地域社会の行政・商工業・教育機関・文化団体等へ加盟をしているか。	B	○	全専研、全専各連に加盟している
	3	上記において定期的な会合に参加しているか。	B	◎	総会・例会等に参加している
	4	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	B	◎	県委託の職業訓練実施高校連携講座を年10校以上で実施
	5	社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を評価・単位認定しているか。	C	○	ボランティア活動は、特別授業として単位認定している
	6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	C	◎	高校・大学・社会人向けに無料公開講座を実施している
評価の根拠 改善内容および課題	目標・計画に基づいた社会的活動になっていない。 学生が自主的に参加するボランティア活動を単位認定する教育課程にはなっていない。				

7 管理運営			重要度ランク	評価	実施状況
学校の管理・運営体制が確立していること	1	理事会が定期的に開催されているか	A	◎	年2回定期開催されている
	2	評議員会が定期的に開催されているか	A	◎	年2回定期開催されている
	3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか	A	◎	求められれば提示するが、外部への積極的公開はしていない
	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか	B	◎	月1回教職員会議を実施している
	5	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか	A	◎	業務分掌表を作成しているが、業務内容の明示が不十分である
	6	決裁規程が文書化されているか	B	◎	文書化されている
	7	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか	A	○	文書化されているが内容の見直しが必要である
	8	防災・防犯対策に対して組織化されているか	A	○	文書化されているが内容の見直しが必要である
	9	定期的に防災訓練を実施しているか	A	◎	実施している
	10	個人情報保護規程が文書化されているか	A	◎	グループの「プライバシーポリシー」にて明文化している
	11	ハラスメントに関する規定が文書化されているか	B	◎	文書化されている
	12	公印管理簿があるか	B	◎	存在している
	13	出退勤管理簿があるか	A	◎	存在している
	14	受信・発信簿があるか	A	◎	存在している
	15	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されているか	C	◎	学院本部が実施している
	16	教職員の健康診断がされているか	A	◎	毎年4月に実施している
評価の根拠 改善内容および課題	グループの統規程、標準規程の整備により、各種規程の文書化が整備されつつある。 各分掌業務の内容について文書化されていないので、次年度中に整備する予定である。				

8 財務		重要度ランク	評価	実施状況
財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか	1 年度予算・中期計画が策定されているか	A	◎	計画している
	2 予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか	B	◎	毎月1回経営会議にて執行状況が確認されている
	3 会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか	B	◎	毎月会計士による監査がある 毎年度監事による監査報告をしている
	4 会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか	B	◎	報告されている
	5 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	A	◎	できている
	6 固定資産管理規程が文書化されているか	B	◎	文書化されている
	7 図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか	C	×	文書化されていない
	8 物品(消耗品・貯蔵品)等の在庫管理をしているか	B	○	在庫が少なくなれば追加発注しているが、在庫管理方法の見直しが必要で
	9 施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	○	破損・老朽化に応じて保守しているが、定期的な管理は不十分である
	10 物品購入等における複数業者からの確認がされているか	B	◎	一定額を超える物品購入においては相見積を基本としている
評価の根拠 改善内容および課題	予算計画・執行、会計の面では公正に処理されている。 物品の在庫管理は不十分である。			

9 改革・改善			重要度 ランク	評価	実施状況
各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか	1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	B	○	文書化されているが、詳細なルールになっていない
	2	自己点検・評価の組織があるか。	B	○	自己点検・評価委員会を設置している
	3	評価・改善を行うための組織があるか。	C	○	自己点検・評価委員会が担っている
	4	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	A	○	教職員会議を通じて伝えている
	5	自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。	B	○	自己点検・評価結果は併覧できるが、積極的に共有する機会は設けていない
	6	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	B	○	計画に基づいた結果検証はできていない
	7	自己点検・評価報告書があるか。	B	○	文書化されている
	8	自己点検・評価報告書が公表されているか。	C	○	HPにて公表している
評価の根拠 改善内容および課題	自己点検・評価の基本ルールはあるが、詳細なルールになっていない。 組織・体制については、整備途上である。				